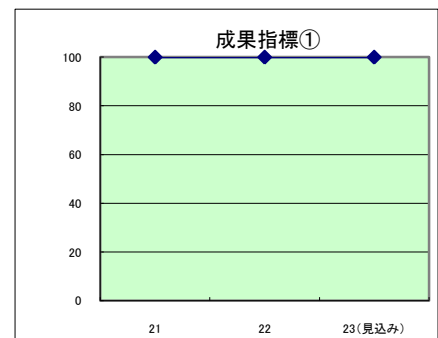
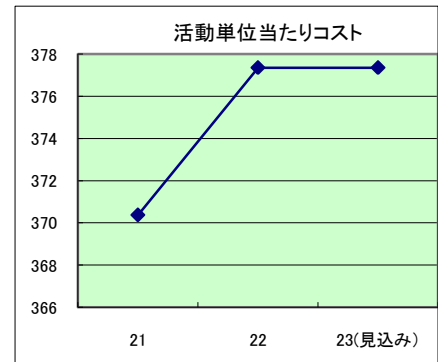


総合基本計画	事務事業名	年金者連盟事務		予算科目	会計	1	一般会計	
	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち		款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	1	一般管理費	
	施策(節)	3	行財政運営		事業	61	人事管理	
施策の方向	(1)	小さな市役所の構築	作成部署	市長公室人事課				
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 3432			
事業の目的	対象(誰を・何を)				本市職員OBが加入する年金者連盟羽曳野支部			
	意図(どういう状態にしたいのか)				連盟事業を円滑にすることで市の発展に寄与する。			
	連盟事業が円滑に実施されるよう会務の補助をする。							
事業の内容	根拠法令等							
	事業開始時期				☒ 昭和 46 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			
事業開始時からの状況変化				市民や議会の要望				
実施手法				☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先				委託内容				
☐ 市外郭団体委託 名称()								
☐ 民間委託 ☐ その他								

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		80	80	80	
人件費【2】 (千円)		0	0	0	
職員数	正規職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		80	80	80	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)				
	一般財源 (千円)	80	80	80	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
①	会員数	人	216	212	212
②					
③					
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)			370 円	377 円	377 円
市民1人当たりコスト(【A】／人口)			1 円	1 円	1 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	事業実施率 (式)	%	連盟が円滑に事業を実施した場合	目標	100	100	達成率(%)	100
					実績	100	100	100.0%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	連盟の運営に必要な事務である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☐	☐	☒	市の発展に寄与するために有効である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☐	☐	☒	
		社会情勢の変化に対応している	☐	☐	☒	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☒	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	連盟の役員との調整により、事務の実施方法や分担に簡略化等の余地はある。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☐	☒	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市の発展に寄与している。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☐	☐	☒	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	円滑に事業を実施している。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	連盟の円滑な運営をおこなうことにより、元市職員としての経験や協力意識を向上させ、市への発展に寄与することになる。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) より円滑な事業の実施に向けて事務分担の精査を行う。連盟に対する補助については、諸団体に対する補助と同様、一定の基準に従って見直すことも必要である。	
行 革 本 部 評 価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	